

◇ 模擬講義のテーマ ◇

「債権の差押えと犯罪被害者の保護」

◇ 解答例（模擬講義の内容の要約）◇

※下線部はキーワード、キーフレーズの使用例

債権とは、別の人に「〇〇をしてほしい」と要求できる権利である。作業報奨金は刑務作業をした見返りとして国から受刑者に支払われるお金のことで、受刑者は国に対して作業報奨金債権をもっている。「他の人が債権者の代わりにお金を受け取ったら意味がない」と考えられる場合は債権の差押えはできない。作業報奨金を本人以外が受け取ってしまうと本来の目的が果たせないので、犯罪被害者からの要求でも作業報奨金債権の差押えは認められない。犯罪被害給付制度があるが問題点もある。犯罪被害者の十分な保護方法を考えることが必要だ。（249字）

※キーワード、キーフレーズ

債権、作業報奨金（作業報奨金債権）、差押え、被害者（犯罪被害者）、
犯罪被害給付制度

◇ 評価基準 ◇

〔得点率〕

- 100%：すべて（5つ）のキーワードに言及している。模擬講義の内容の理解に間違いがない。
- 80%：4つのキーワードに言及している。模擬講義の内容をほぼ正確に理解している。
- 60%：3つのキーワードに言及している。模擬講義の内容の理解に所々間違いがある。
- 40%：2つのキーワードに言及している。模擬講義の内容の理解に多くの間違いがある。
- 20%：1つのキーワードにのみ言及している。模擬講義の内容の要点整理として著しく不十分である。
- 0%：白紙またはそれに準ずる答案である。模擬講義の内容の要点整理になっていない。

〔減点要素〕

- ・一般的な原稿用紙の使い方などの誤り
- ・誤字、脱字
- ・不自然な文章表現
- ・200字未満